



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

雨の多い夏が過ぎ、秋の日は釣瓶落とし、などと呑気なことを言っているうちに霜が降りて冬が来ました。信州は季節の移り変わりがとてもはっきりとしていて、大自然の偉大さを実感するのですが、年齢を重ねるごとに時の経つのが早く感じるようになり、今や目まぐるしい程に季節が通り過ぎていく日々です。

新年を迎えれば、いよいよ病院機能評価の受審になります。今年の1月にキックオフ宣言をしてからミサトピア小倉病院の全職員が力を合わせて準備してきました。決して十分な時間があったとは言えませんが、各部署で日々の業務の見直しや創意工夫を積み重ねることによって、受審に向けての環境は整いつつあると思っています。

今回はバージョンが変わったこともあり、当初はどこまで、何をすれば良いのか？という疑問と不安に包まれていたのですが、ワーキンググループで検討を重ね、評価機構からアドバイスをいただくことで、少しずつ見通しがついて来たように思います。ですから、決して背伸びすることなく、自分たちの普段の姿をしっかりとみってもらうことで目標を達成できることが理想です。

私たちが良い結果を得ることで、城西医療財団全体が元気になれるよう、もうひと頑張りしましょう。

表紙写真

写真タイトル：「 国営アルプスあづみの公園イルミネーション 」

撮影者： 樋口 孝

広大な公園にイルミネーションが始まって、9年目になります。今年は、「光の森のページェント…7つの宝石の秘密」というテーマで、池に映るイルミネーションを撮りました。

8月 夏祭り



平成29年8月2日（水）に、病院行事の『夏祭り』が開催されました。お天気にも恵まれ、無事に1階の駐車場にて開催することができました。

オープニングは、炭坑節を輪になって踊りました。車いすの患者さんも参加でき、自由参加でしたが、多くの患者さんが参加して踊り、とても賑やかでした。



屋台では、そば・うどんの屋台や、涼感を得られそうなかき氷やジュースなどの冷たいものの屋台があり、患者さんはお目当ての屋台に並び、行列ができていました。



職員によるステージ発表や、ヨーヨーつり・空き缶つみあげゲームもあり、患者さんは暑い夏のお祭りを満喫しているようでした。

9月 ジェスチャーゲーム

平成29年9月20日（水）に院内の体育館で、病棟レクの輪くぐり&ジェスチャーゲーム大会が行われました。

まず3つのチームにわかれて座り、輪くぐりから始めました。輪くぐりは、いすに座ったまま赤い輪（たすき）を頭から腰まで1度下げてから、また頭から抜いて隣の人に渡し、チームごとにかかったタイムで順位を競いました。



その後ジェスチャーゲームに移り、まず、3名の職員がお題に沿ったジェスチャーをし、チームごとに1分間に何問答えられるかで点数を競いました。次に、チームごと向かい合って座り、今度はチーム内の患者さんがお題に沿ったジェスチャーをして、患者さん同士、協力して点数を集めていました。



10月 喫茶店への外出

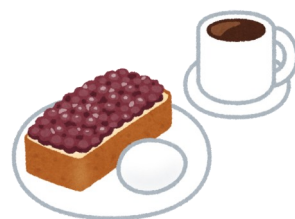
平成29年10月17日（火）に、12名の患者さんが作業療法の一環で喫茶店へ外出しました。

訪れた喫茶店は、今年の4月に松本市梓川にオープンした名古屋系の喫茶店で、午前11時までは飲み物の料金のみでトーストなどが付いてくるお得なモーニングサービスを提供しています。当院の患者さんは長期療養のため、日頃、外出の機会や、他の地域の文化に触れる機会が少ない方も多く、ほとんどの患者さんがモーニングサービスを初めて体験しました。



メニューから好きな飲み物を選んで注文し、実際に飲み物とサービスのトーストやゆで卵などが届くと、嬉しそうに召し上がっていました。患者さんの中には、初めてゆで卵の殻を剥いた方もいて、試行錯誤しながら黙々と取り組んでいました。

行き帰りのドライブも、いつもとは違う景色を見ることができ、好評でした。



11月 やきいもレク

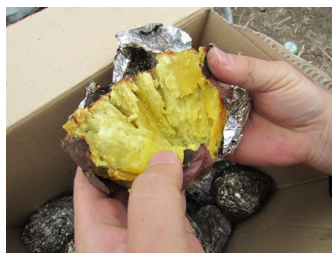


平成29年11月8日（水）に精神科の3病棟合同でやきいもレクが開催されました。



午前中は、さつまいもの茶きん絞りを調理室で作る班と、農場でやきいも焼く班にわかれて、活動をしました。雨が少しぱらぱらするお天気でしたが、あまり大きな風が吹くこともなく、無事焚火でさつまいもを焼くことができました。

午後は、病棟ごとに農場まで少人数でのお散歩を行ない、おやつにやきいもと茶きん絞りを食べました。今年も、季節感を味わえる秋の恒例行事を無事終えることができました。



職場体験

平成29年8月30日・31日の2日間、三郷中学校の2年生5名が、職場体験で来院し業務を体験しました。



まず、病院で働いている職員の職種や資格についてや、日々の業務について各担当者から説明をし、その後、病棟や薬剤部での業務を体験していただきました。

薬剤部では、薬の錠剤に見立てたタブレット菓子を機械にセットし、調剤する作業を一人ずつ体験していただきました。



病棟では、職員と一緒に車いすの患者さんと一緒に屋外へお散歩に出かけたり、ビーチボールを使って身体を動かしたりして、患者さんとも交流を深めました。患者さんは、中学生と一緒に過ごすことができとても楽しそうでした。

各選挙不在者投票の報告

当院では、選挙の投票日に、病状が思わしくない・単独での外出ができないなどの理由のため、地域の投票所へ行くことができない患者さんに対して、不在者投票施設の指定を受け対応しています。

平成29年10月15日の安曇野市長選挙・安曇野市議会議員一般選挙と、平成29年10月22日の第48回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査で、60名の患者さんが、院内に設けた投票所において不在者投票を行いました。

病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 医療安全・サービスの質の向上
2. 地域への貢献
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症疾患療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることがなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103
長野県安曇野市三郷小倉6086-2
TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

例年より気温が低く、大雪が降るのか？が気になる季節になりました。無事に24号を発行できて一息就きたいところですが、大掃除に年賀状と慌ただしい年末。そして、年明け早々に日本医療機能評価機構の受審があり、しばらくは忙しい日々になりそうです。来年も病気や怪我をすることなく健康に過ごしたいものです。

樋口 孝